

令和5年度 事業実績報告書

令和6年6月

社会福祉法人

早島町社会福祉協議会

目 次

◆早島町社会福祉協議会 令和5年度事業総括

- ▶基本理念（P.1）
- ▶経営理念（P.1）
- ▶基本姿勢（P.1）
- ▶事務局重点項目（重点目標）（P.2）
- ▶介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）（P.3～5）

◆令和5年度事業実績

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営（P.6～7）
 - （1）理事会の開催
 - （2）評議員会の開催
 - （3）早島町内社会福祉法人連絡協議会の連携支援

II. 地域福祉事業

1. 広報事業活動の推進（P.8）
 - （1）社協だより発行
 - （2）ホームページ等による福祉情報の発信
 - （3）地域福祉活動計画の周知
 - （4）早島の匠ミニギャラリーの開催
2. 会費・寄付・募金の収受（P.8～9）
 - （1）住民会員・会費の募集
 - （2）一般寄付等の受納
 - （3）共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進
3. 新たな“つながり”づくりの支援（P.9～10）
 - （1）食を通じた新たなつながりづくりの創造
 - （2）スマートフォン講座の開講と活用支援
 - （3）歳末フードドライブ及び歳末フードパントリー（新規）
4. 住民参画型生活支援活動の支援（P.11～13）
 - （1）外出支援活動の支援
 - （2）暮らしの応援団活動の支援

(3) 暮らしの応援カフェの運営支援

5. 福祉活動員活動の支援 (P.14~15)

(1) 福祉活動員協議会活動の支援

6. 地区福祉活動の支援 (P.15~17)

- (1) 高齢者給食サービス活動の支援
- (2) ふれあい・いきいきサロン活動の支援
- (3) 夏季一斉友愛訪問活動
- (4) 秋のちょこっとお助け訪問活動
- (5) 地区福祉活動の支援

7. 福祉啓発(教育)の推進 (P.18~19)

- (1) 夏のボランティア体験
- (2) 福祉教育への協力支援
- (3) コミュニケーション麻雀の普及推進
- (4) 障がい者作品展の開催
- (5) 福祉映画会

8. ボランティア活動の支援 (P.19~20)

- (1) ボランティア保険の加入支援
- (2) 福祉ボランティアグループ活動の支援
- (3) ボランティア活動に関する相談・調整
- (4) ボランティア活動の人材発掘

9. 福祉団体活動の支援 (P.21)

- (1) 福祉当事者団体活動の支援
- (2) 福祉団体活動の支援

10. 在宅福祉サービス事業 (P.21)

- (1) 福祉有償運送事業
- (2) 福祉用具貸出サービス

11. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助 (P.22)

- (1) 生活福祉資金貸付事業
- (2) 日常生活自立支援事業

12. 地域福祉センターの管理運営 (P.23)

- (1) 施設利用
- (2) 備品・用具の貸出
- (3) 施設修繕・改修

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業（P.24）

- （1）介護保険-居宅介護支援事業
- （2）介護保険-介護予防居宅介護支援事業【早島町受託事業】

2. 通所介護事業（P.25）

- （1）介護保険-通所介護事業
- （2）介護予防・日常生活支援総合事業
- （3）介護保険外サービス事業
- （4）ボランティア協力の受入

3. 訪問介護事業（P.26～29）

- （1）介護保険-訪問介護事業
- （2）介護予防・日常生活支援総合事業
- （3）介護予防・日常生活支援総合事業-生活支援事業
- （4）介護保険外サービス事業
- （5）障がい者総合支援-居宅介護事業
- （6）障がい者総合支援-重度訪問介護事業
- （7）障がい者総合支援-移動支援事業（外出支援）

▶基本理念

お互いが支えあい 安心して 幸せに暮らせる 住みよい地域をつくれます。

▶経営理念

本会役職員は、基本理念に則り地域福祉事業の推進と介護保険事業の充実・発展を図るとともに、安定した法人運営に心がけてまいります。

▶基本姿勢

地域の中核としての役割が期待されている早島町社会福祉協議会においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域福祉事業が縮小し、介護保険事業では収支のバランスが崩れ、危機的状況になりました。

このような状況であっても、ポストコロナを見据え、深刻化する社会的孤立や複雑・複合化する生活課題に対し、人や活動のつながりが途切れることがないよう本会職員は、培ってきた基盤や専門性、心を込めたあたたかな対応を心がけ今年度も工夫と努力を続けます。

地域福祉活動においては、社会福祉協議会は、「地域住民の伴走者」であることを認識し、早島町の福祉のために地域住民と同じ考えをもち、同じ方向に向かって一緒に歩く「伴走的な支援」を心がけます。早島町の福祉・介護が弱体化しないよう職員は社会福祉協議会の使命である「地域福祉の推進」の原点に立ち返り取り組みます。

介護保険事業においては、介護人材の確保・育成・定着を喫緊の課題と考えます。介護人材が不足すると、職員の疲弊やサービス利用者の定員も減らさざるを得ない状況が起こります。長年続いている経営難からの脱却と生産性の向上を目指すため、支援が必要な方々からの要望に可能な限りお応えする「断らない支援」を心がけ、その経営手腕を各セクションが具現化し、実践します。

更に、今年度早島町社会福祉協議会は、職員の更なるモチベーションの向上にアプローチします。職場において、OJT（職場内教育）や OFF-OJT（職場外教育）制度を取り入れ、組織改革のための原因究明、組織力の強化と安定を目指し、職員が協力し合い適切で持続可能な組織の成長を目指します。

（令和5年度事業計画書より抜粋）

■事務局重点項目（重点目標）及び達成度

事務局重点項目（重点目標）	達成度
1）第2次地域福祉活動計画の周知と推進 民間福祉の行動計画である『はやしまほっとプラン2』の計画内容について、コロナ禍で進まなかった住民や民間団体への周知機会をつくり、引き続き協働の呼びかけを行います。 また、コロナ禍で停滞するサロンや給食サービス等の交流活動について、アフターコロナに向けたあり方を活動者と協議しながら新たな形を模索します。加えて、福祉活動モデル地区を中心に自主防災組織と連携した地域における見守り活動のあり方の検討を再開します。	・昨年5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わったが、上半期においては依然、地域の団体活動や会議が停滞する中、同計画の周知は、主要団体の会議や研修、一部地区の場での説明による周知に留まった。 ・下半期を前に、多くの地域の交流活動の再開の動きが見られたが、解散意向の団体もあり、担い手の後継探しや活動形態の見直し等のフォローを行ったが、給食サービスが2グループ、サロン3団体の活動が解散となった。 ・改正個人情報保護法の施行に伴い、民生委員及び福祉活動員の高齢者が中心となっていた「福祉マップ作成」や「友愛訪問」の基礎データを「避難行動要支援者名簿」に変更。また、塩津地区内において、スマートフォンのSNS機能を活用した要支援者の日常的な安否確認の可能性の検証に向けた取り組みに着手した。
2）生活困窮者への相談支援体制の整備と職員育成 コロナ禍の影響を受け、休業や失業により生活困窮した方への特例貸付の償還業務や相談支援体制の拡充が求められています。主管の岡山県社会福祉協議会の指導を受けながら新たな相談支援体制を整備します。 また、法人運営、施設管理等の総務、労務管理や経理、地域福祉推進の業務を少人数の兼務で行う事務局において、経験の浅い職員が様々に並行する業務を円滑に推進できるよう、引き続き職員の育成に努めます。	・令和5年6月に新会長となり、事務局員の負担増大に鑑み、事務局を地域福祉活動推進部門と法人経営部門に分割した。11月には新事務局長となり、人材の育成課題については、事務局員兼務による法人運営は難しいと判断、令和6年1月に専門職を法人経営部門に新規採用することで事務局員（社会福祉士）を地域福祉活動に専念させることとした。 ・新型コロナ特例貸付の償還が本格的になる中、担当職員の研修会への参加奨励、事務備品の整備等を進め、既存事業である日常生活自立支援事業と併せて生活困窮者の相談支援機能の強化を図った。

■介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）及び達成度

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
居 宅 介 護 支 援	1）新規受け入れ体制の維持による経営の安定 新体制になり、新たなチームづくりを進めるなかでも「断らない支援」を心がけ、介護・支援を必要とする方に、住み慣れた早島でできる限り自立した生活を送っていただけるよう支援します。 また、支援に悩む時や困難なケースに直面した時にも、組織としてできること・できないことを統一すること、職員間で助言・協力・情緒的なサポートを行うことにより、職員一人一人のモチベーション維持を図り、安定した経営を目指します。	・病院からの新規相談は全て受けた。地域包括支援センターと密に情報連携を図り、急を要するケースやがん末期、閉じこもり状態の要介護認定者等の支援を行った。 ・支援に悩むときも、利用者とその家族らが無理なく在宅生活・介護が続けられるようチーム内で支援の方向性を適宜検討し、担当職員の負担軽減を図った。また、前年度に比べ担当件数が増えたが契約解除件数は減少した。施設入所をせず、在宅生活が継続できた件数が増えたと考えられる。
	2）地域に根付いたサービス提供と業務継続計画の策定 介護予防支援の相談については、担当件数の基準内で受け入れるとともに、自立支援・地域包括ケアシステムの視点から、地域に根付いた総合的なサービスの提供に努めます。 また、感染症や非常災害の発生時における、利用者に対する支援の継続や、早期の業務再開を図るための事業継続計画（BCP）を策定いたします。	・介護予防支援の相談については、担当要介護利用者が要支援移行となった場合や、担当要介護利用者の家族であった場合に受託した。地区サロンや給食サービス、ころばん塾への参加等が継続できるよう、生活状況を確認するなど支援した。 ・業務継続計画は策定できた。また、台風被害想定での机上訓練を行い、利用者連絡や安否確認の優先順位について検討、記録した。
	<運営状況総括> ・要介護認定者の契約締結は61件（前年度▲18件）、契約解除は54件（前年度▲6件）、月平均件数は173.5件（前年度+11.9件）。契約解除件数の内訳は、入所15件、永眠19件、長期入院9件、軽度化（要支援移行・サービス利用終了）9件、その他2件。 ・要支援認定者の受託は新規8件、終了9件。月平均件数は29.5件（前年度▲6.5件）。終了の内訳は、永眠1件、要介護移行8件。	

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
デイサービスセンター	1) 新体制基盤を整え、収支の改善を図る 管理者と介護事業部3部署の事務を担う職員を迎え、新しい体制になります。新管理者を中心に、日々の業務が円滑に進められるように業務分担の見直しを行い、手書き作業を減らすなど作業の効率化を図ります。 また、本会居宅介護支援事業所との連携と外部の居宅介護支援事業所への広報活動を行い利用者の確保に努めます。しかしながら、一定数の利用が維持できても人件費や水道光熱費の高騰により、収益が出ない状況が考えられます。そこで今年度は、支出を削減できるように業務委託の見直しを行います。	・介護3部署兼務の職員が入り、月々の集計、実績作成など事務作業が滞りなく進められ、書類の書式の見直しも出来た。 ・管理者については、4月から引継ぎを行ったものの2月にはもどに戻す結果となり、新しい体制を築くことが出来なかった。引継ぎ時間と元に戻す手続きに時間を要し、業務の見直しや作業の効率化には手が付けられなかった。 ・居宅支援事業所と密に連携を取り、積極的に利用者の受け入れを続けた結果収入は増やすことが出来た。 ・調理業務の委託を見直すために、他社の試食を行った。令和6年度の介護保険法改正で介護報酬や業務の変更があるため、今年度委託を変えることは見送った。
	2) 利用者の満足度の向上と計画的な業務遂行 事業所内での感染対策を継続しながら、中止していた季節行事やボランティアによる音楽や演芸などの活動を、感染症の流行状況を見ながら実施します。 また、令和6年度に義務化される業務継続計画の策定や運営指導対策、季節行事の準備など、日常業務以外の作業については年間の計画を立て、一人の職員に一時期に残業が偏ることがないように業務の見直しを図ります。	・4月に外部ボランティアを再開したがその後近隣事業所でのクラスターレベルの感染発生が続いたため、外部ボランティアによる演芸等の催し物は中止した。 ・項目ごとの満足度調査では、送迎84%、食事87%、運動68%、創作活動64%が満足との回答であった。 ・業務継続計画は策定出来た。利用者数が少ない時に前倒して創作やイベントの準備を行った。漏れの多かった記録物についてはパソコン入力に変更したため、漏れの修正に係る時間の短縮が出来た。終業時のミーティングの進め方を改善し退勤時間は早くなった。
	<運営状況総括> ・通所介護と総合事業対象者をあわせた1日あたりの平均利用者数は27.3人（前年度比+1.7人） ・利用者数が増えたことで収入は増加したが修繕費の増加と、燃料・光熱費高騰の影響で赤字は解消できなかった。	

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
ホームヘルパーステーション	1) 人材の確保を見据えた広報活動と福祉教育への参画 令和5年度は、今まで以上に訪問介護員の確保難、及び既存職員の高齢化を大きな課題としてスタートすることになります。しかし、広報誌やホームページ等を有効に活用し、早島町ホームヘルパーステーションの活動風景を発信しながら訪問介護の魅力とやりがいを伝え、介護人材の確実な確保を目指します。 また、福祉教育の場に積極的に参画し、介護の仕事にかかわっている者の責任を果たすと共に、訪問介護事業の認知度の向上に努めます。	・ 広報誌の記事を利用者に焦点をあてた物から、訪問介護の業務内容に焦点をあてた物に変更して作成したが、これによる新たな人材確保には繋がらなかった。 ・ 小、中学校福祉教育にも参加し訪問介護のやりがいを伝えることができた。福祉活動員のミニ講座に講師として参加し、訪問介護事業の認知度の向上に努め、登録ヘルパー募集を呼びかけた結果、1名の登録ヘルパーを採用することができた。
	2) 安心していただけるサービスの提供と事業継続計画の策定 業務の効率化が行いづらい訪問介護サービスですが、介護を必要とする多くの方々に安心してサービスを利用していただくことができるよう、丁寧なサービスの提供を心がけると共に自己研鑽にも努めます。 また、継続する感染症の拡大や災害時に備え、訪問介護に即した事業継続計画（BCP）を策定します。	・ 毎月行うヘルパー定例会の研修において、関心の高い課題を題材にするなど工夫し、毎回振り返りができるよう簡単なレポートを提出してもらい意識の統一化を図った。また、担当者ケース会議を行いサービスの個々の課題の整理、サービスの統一を図り、丁寧なサービス提供を心掛けた。 ・ 法人全体の事業継続計画（BCP）は作成できた。
	〈運営状況総括〉 ・ 新規契約が20件あったが、中止・死亡・入所された方が17件あった。人材不足により一時新規受け入れを中止した影響で新規利用者は前年度より12件減少した。	

◆令和5年度事業実績

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営

〔1〕理事会の開催

開催日／出席数	決 議 事 項
令和5年 6月 2日 ／理事10名（11名中） ／監事2名（2名中）	◇令和4年度事業実績報告（案）について ◇令和4年度一般会計収支決算報告（案）について ◇理事・監事の退任及び次期理事・監事の推薦（案）について ◇評議員の退任及び評議員の推薦（案）について ◇評議員会の招集（案）について
令和5年 6月21日（金） ／理事11名（11名中） ／監事2名（2名中）	◇早島町社会福祉協議会会長の選任について ◇早島町社会福祉協議会副会長の選任について ◇早島町社会福祉協議会常務理事の指名について
令和5年 7月24日（水） ／理事11名（11名中） ／監事2名（2名中）	◇「就業規則」第5章休暇等に（病気休暇）を新設することについて（書面決議）
令和5年10月 5日 ／理事10名（10名中） ／監事2名（2名中）	◇会長業務報告 ◇経理規程の一部変更について ◇令和5年度一般会計第1次補正予算（案）について ◇事務局長退職に伴う後任の選定（案）について ◇早島町社会福祉協議会が設置運営する施設長等の選任（案）について ◇評議員会に諮る理事候補者の推薦（案）について ◇令和5年度第2回評議員会の招集（案）について
令和6年 1月31日 ／理事10名（10名中） ／監事2名（2名中）	◇会長業務報告 ◇令和5年度一般会計第1次補正予算（案）について ◇運営資金積立金管理規程（新設）について ◇令和5年度第3回評議員会の開催について
令和6年 3月15日 ／理事10名（10名中） ／監事2名（2名中）	◇令和5年度一般会計第2次補正予算（案）について ◇令和6年度事業計画（案）について ◇令和6年度一般会計当初予算（案）について ◇規程類の一部変更について
令和6年 3月29日 ／理事9名（10名中） ／監事1名（2名中）	◇令和6年度人事について ◇令和6年度資金運用計画（案）について

〔2〕評議員会の開催

開催日／出席数	決 議 事 項
令和5年 6月21日 ／評議員17名（21名中） ／理事2名 ／監事2名（2名中）	◇令和4年度事業実績報告（案）について ◇令和4年度一般会計収支予算報告（案）について ◇役員の退任（案）について
令和5年11月27日 ／評議員19名（19名中）	◇早島町社会福祉協議会理事の選任について （書面決議）
令和6年 2月19日 ／評議員15名（19名中） ／理事2名 ／監事2名（2名中）	◇会長業務報告 ◇令和5年度一般会計第1次補正予算（案）について ◇運営資金積立金の取り崩しについて
令和6年 3月27日 ／評議員14名（19名中） ／理事2名 ／監事2名（2名中）	◇令和5年度一般会計第2次補正予算（案）について ◇令和6年度事業計画（案）について ◇令和6年度一般会計当初予算（案）について ◇規程類の一部改定（案）について

〔3〕早島町内社会福祉法人連絡協議会の連携支援

（1）参加法人名（運営施設名）

- ①社会福祉法人 戸川児童福祉会（早島保育園）
- ②社会福祉法人 中野社会福祉協会（かんだ保育園・わかみや保育園）
- ③社会福祉法人 敬仁会（特別養護老人ホーム白亜館・デイサービスセンターはくあ）
- ④社会福祉法人 リンク（早島地域生活支援センター・ヒトノワ・With 広場早島）
- ⑤社会福祉法人 早島町社会福祉協議会（事務局・居宅介護支援センター・デイサービスセンター・ホームヘルパーステーション）

※④「社会福祉法人 リンク」は、オブザーバーとして参画。

（2）実施結果

①幹事会

開催日／出席者数／会場	協 議 事 項
総会 令和5年 8月24日（水） ／10名／オアシス早島	◇令和3-4年度事業報告及び決算について ◇令和5年度事業計画及び予算について
幹事会 令和6年 3月 1日（金） ／8名／オアシス早島	◇各法人のBCP策定状況について ◇フードバンク活動について ◇支援困難事例について

②フードバンク事業

- ・9ページ「3.新たな“つながり”づくりの支援／〔1〕食を通じた新たなつながりづくりの創造」参照。

③業務用車両貸与事業

団体区分	利用団体数	利用回数
高齢者支援団体	2団体	209回
青少年育成団体	2団体	45回

Ⅱ. 地域福祉事業

1. 広報事業活動の推進

〔1〕社協だより発行

- ◇第129号（夏 号） 令和5年 6月下旬発行（5,200部）
- ◇第130号（秋 号） 令和5年10月下旬発行（5,200部）
- ◇第131号（新春号） 令和5年12月下旬発行（5,200部）
- ◇第132号（春 号） 令和6年 3月下旬発行（5,200部）

〔2〕ホームページ等による福祉情報の発信

○Facebook 年間投稿記事数

発信部署	発信件数（前年度比）
事務局	37件（+8件）
居宅介護支援センター	0件（±0件）
デイサービスセンター	0件（±0件）
ホームヘルパーステーション	0件（±0件）
合 計	37件（+8件）

〔3〕地域福祉活動計画の周知

開催日	行事名／場所
令和5年 4月27日（木）	早島町福祉活動員協議会総会／オアシス早島
令和5年 5月 9日（火）	自治会行政連絡会議／早島町役場
令和5年 7月28日（金）	塩津地区福祉活動検討会／塩津公民館
令和5年 8月 7日（月）	市場地区サロン活動検討会／市場公民館
令和5年10月25日（水）	見守り推進会議／ゆるびの舎
令和6年 2月29日（木）	サロン活動者研修会／オアシス早島

〔4〕早島の匠ミニギャラリーの開催

団体名	ジャンル	作品展示期間
絵手紙ボランティア やまびこ	絵手紙	令和5年10月27日～令和5年11月22日

2. 会費・寄附・募金の収受

〔1〕住民会員・会費の募集

区 分	会員数	口 数	金 額
賛助会費・団体	33件	1口	66,000円
合 計	33件	1口	66,000円

〔2〕一般寄附等の受納

区 分	件 数	金 額
一般寄附	7件	108,189円
満中陰志	5件	120,000円
合 計	12件	228,189円

〔3〕共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進

（※岡山県共同募金会-早島町共同募金委員会事務）

①赤い羽根共同募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	936,591 円	▲97,030 円
街頭募金	5,861 円	4,435 円
法人募金	345,898 円	14,151 円
学校募金	29,968 円	▲15,276 円
職域募金	116,800 円	13,369 円
イベント募金	15,250 円	▲494 円
個人募金	8,348 円	5,348 円
その他の募金	77,317 円	14,800 円
通帳利息	8 円	0 円
合 計	1,522,843 円	▲73,895 円

②歳末たすけあい募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	924,924 円	63,821 円
通帳利息	1 円	1 円
合 計	924,925 円	63,822 円

③共同募金運動推進活動

開催日	行事名	募金実績
令和5年10月2日（月）	街頭募金（早島駅前）	3,292 円
令和5年10月4日（水）	街頭募金（マルナカ店舗前）	2,569 円
令和5年11月5日（日）	イベント募金（いきいき広場）	15,250 円

3. 新たな“つながり”づくりの支援

〔1〕食を通じた新たなつながりづくりの創造

①寄付受付数

分類	実績（内訳）
寄付受付回数	30回（内、早島町総務課より3回受付）
食品受付数	1,447 点（内、早島町総務課より900 点受付）
寄付者数（団体）	8団体（早島町町民課、早島町総務課、かんだ保育園、オービス岡山コープ、妙法寺、わかみや保育園、早島町社会福祉協議会）
寄付者数（個人）	14名（町内9名、町外5名）

②利用申込数

分類	実績（内訳）
利用申込回数	239回
食品提供数	2,974 点
実利用者数	17名

〔2〕スマートフォン講座の開講と活用支援

開催日	分類	受講者数	サポーター数
令和5年 6月15日(木)	第1期基本編第1回	18名	2名
令和5年 6月29日(木)	第1期基本編第2回	17名	2名
令和5年 7月13日(木)	第1期特別編第1回	17名	1名
令和5年 7月27日(木)	第1期特別編第2回	13名	7名
令和5年 9月14日(木)	第2期基本編第1回	15名	1名
令和5年 9月28日(木)	第2期基本編第2回	15名	1名
令和5年10月12日(木)	第2期特別編①第1回	16名	2名
令和5年10月26日(木)	第2期特別編①第2回	15名	1名
令和5年11月 9日(木)	第3期特別編②第1回	16名	2名
講座開催数：9回		延べ142名	延べ19名

〔3〕歳末フードドライブ及び歳末フードパントリー（新規）

（1）要点

地域歳末たすけあい運動の一環として従前より行っていた福祉映画会を見直し、より生活困窮者（特例貸付利用者世帯、ひとり親世帯等）の支援に実効性のあるフードドライブ（食品寄付の受付）及びフードパントリー（食料品の無償配布）の活動を実施した。

①歳末フードドライブ

開催年月日	令和5年12月9日(土)
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」駐車場
寄付者数	27名
寄付内容	242点 缶詰・瓶(34個)、レトルト食品(49個)、インスタント食品(57個)、お菓子(57個)、飲料(5個)、調味料(25個)、粉類(2個)、乾物他(6個)、白米(39.3kg)

②歳末フードパントリー

開催年月日	令和5年12月23日(土)
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」1階多目的室・ボランティア室
対象者	町内在住の生活困窮者（特例貸付世帯、ひとり親世帯等）
申込者数	26世帯(65名)
配布内容	【1人あたり】白米2kg、レトルト食品5食分 【1世帯あたり】歳末フードドライブ寄付食品より最大10点

4. 住民参画型生活支援活動の推進

〔1〕外出支援活動の支援

（1）外出支援活動検討会の開催

開催日	主な検討事項
令和5年 4月18日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和5年 5月23日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和5年 6月20日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和5年 7月18日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和5年 8月22日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和5年 9月26日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和5年10月24日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和5年11月21日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和5年12月19日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年 1月23日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年 2月20日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和6年 3月19日（火）	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動

（2）利用状況等実施結果

○給食サービス利用者送迎実績

利用団体：6団体（前年度比±1団体）

延べ運行回数：234回（前年比－37回）

○サロン利用者送迎実績

利用団体：1団体（前年度比±0団体）

延べ運行回数：4回（前年比＋3回）

〔2〕暮らしの応援団活動の支援

○定期活動

支援内容	実利用者数	延べ利用件数	実活動者数	延べ活動者数	備 考
ゴミ出し	14名	621件	4名	621名	原則：可燃物
買い物代行	1名	24件	2名	24名	
食事づくり	0名	0件	0名	0名	
話し相手	0名	0件	0名	0名	
合 計	15名	645件	6名	645名	

○不定期活動

支援内容	実利用者数	延べ利用件数	実活動者数	延べ活動者数	備 考
付添い支援	6名	6件	6名	6名	買い物・墓参り・当事者 団体旅行
家屋内整理掃除	4名	6件	8名	11名	不要物分別・搬出等
家屋等修繕	5名	5件	3名	6名	電灯取替・簾の取り付け
庭・植栽整備	6名	7件	12名	25名	草刈り、植栽伐採等
合 計	21名	24件	29名	48名	

○地区活動（買い物サロン）

地区名	延べ購入者数	開催回数	実活動者数	延べ活動者数	備 考
金 田	243名	38回	2名	53名	水曜日
塩 津	548名	50回	4名	189名	水曜日
長 津	116名	54回	1名	1名	水曜日
片 田	235名	50回	2名	98名	火曜日
ニュー早島	46名	31回	4名	4名	水曜日
備南台	248名	38回	1名	38名	水曜日
真磯台	380名	38回	5名	147名	水曜日
樽 島	173名	38回	0名	0名	水曜日
宮 崎	363名	54回	3名	126名	水曜日
日笠山	96名	50回	1名	22名	水曜日
三軒地	219名	50回	1名	47名	火曜日
畑 岡	119名	50回	0名	0名	火曜日
塩 地	270名	51回	1名	23名	木曜日
無 津	338名	51回	1名	49名	木曜日
大 池	219名	51回	1名	44名	木曜日
久々原	240名	51回	2名	52名	土曜日
下 野	7名	5回	1名	3名	土曜日
市 場	358名	51回	1名	35名	土曜日
矢 尾	147名	51回	0名	0名	土曜日
前 潟	119名	50回	0名	0名	土曜日
下前潟	210名	50回	0名	0名	土曜日
舟 本	293名	99回	0名	0名	火曜日、土曜日
小 浜	297名	99回	0名	0名	火曜日、土曜日
頓 行	109名	50回	0名	0名	土曜日
合 計	5,393名	1,200回	31名	931名	

〔3〕暮らしの応援カフェの運営支援

（1）茶話会等開催実績

開催日／参加者	主な検討事項
令和5年 4月10日（月） ／住民20名・専門職2名	・総会（役員の選任等）、LINE イベント機能の説明 ・活動報告、活動募集
令和5年 5月10日（水） ／住民15名・専門職1名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和5年 6月 9日（金） ／住民22名・専門職2名	・定例会、LINE イベント機能の説明 ・活動報告、活動募集
令和5年 7月10日（月） ／住民16名・専門職1名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和5年 9月 8日（金） ／住民20名・専門職1名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和5年10月10日（火） ／住民18名・専門職2名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和5年11月 8日（水） ／住民12名・専門職2名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和5年12月 8日（金） ／住民15名・専門職2名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和6年 1月10日（水） ／住民19名・専門職1名	・定例会、ミニ研修「終活セミナー」 ・活動報告、活動募集
令和6年 2月 9日（金） ／住民18名・専門職1名	・定例会 ・活動報告、活動募集
令和6年 3月 7日（木） ／住民18名・専門職1名	・定例会 ・活動報告、活動募集

（2）参加者数

○実参加者数：住民29名・専門職2名

○延べ参加者数：住民193名・専門職16名

5. 福祉活動員活動の支援

〔1〕福祉活動員協議会活動の支援

(1) 定例会等開催実績

開催日／参加者等	活動区分	主な内容等（研修テーマ）
令和5年 4月27日（木） ／52名	定例総会	事業計画及び予算案協議、役員の補充選任等 研修「社会福祉協議会の事業と福祉活動員の役割」
令和5年 5月24日（水） ／57名	見守り 推進会議	福祉マップの作成、夏季一斉友愛訪問 ミニ講座「新型コロナ最新情報と見守り活動 ／高齢者の脱水症状について」
令和5年 6月 ／75名	夏季一斉友愛 訪問活動	（訪問先：避難行動要支援者名簿掲載者等）
令和5年 7月20日（木） ／39名	定例会	ミニ講座「高齢者の特性とコミュニケーション」
令和5年 9月21日（木） ／35名	定例会	ミニ講座「高齢者の特性とコミュニケーション」
令和5年10月25日（木） ／57名	見守り 推進会議	秋のちょこっとお助け訪問活動 研修「地域共生社会の実現に向け民生委員と 福祉活動員に求められること」
令和5年11月16日（木） ／11名	交流会	グランドゴルフ交流会
令和5年11月20日（月） ～30日（木）／13名	実践活動	秋のちょこっとお助け訪問活動 （活動先：町内高齢者・身体障がい者世帯）
令和6年 1月18日（木） ／40名	定例会	ミニ講座「認知症の方の接し方」
令和6年 2月15日（木） ／27名	定例会	ミニ講座「介護保険制度について」
令和6年 3月21日（木） ／39名	定例会	今年度の振り返りと次年度活動について

※例年6月に実施する夏季一斉友愛訪問で福祉マップの更新をしていたが、町役場から住民基本台帳のデータが提供されなくなり、災害時避難行動要支援者リストを活用した。

(2) 期末アンケート結果 [抜粋]

〔設問〕 近隣づきあいや福祉活動の必要性に対する認識について	回答者数	回答率
大変重要と考えるようになった	7名	11.3%
必要性の認識が高まった	35名	56.5%
何となく必要性を感じた	19名	30.6%
必要性を感じない	0名	0%
未選択	1名	1.6%
〔設問〕 今後の福祉活動について	回答者数	回答率
できるだけ地区や町内の福祉活動に協力していきたい	12名	19.4%
要請があれば地区や町内の福祉活動に協力していきたい	15名	24.2%
できる範囲で近所づきあいを大切にしていきたい	35名	56.5%
あまり近所づきあいはしたくない	0名	0%
未選択	0名	0%

※アンケート回収率：83.8%（62名／74名）

6. 地区福祉活動の支援

〔1〕 高齢者給食サービス活動の支援

(1) 活動実績

団体名	利用者数	提供者数	延べ実施回数	延べ利用者数	延べ提供者数
クローバー	15名	5名	22回	320名	106名
コスモス	15名	11名	22回	272名	172名
スプリング	13名	5名	21回	216名	99名
たんぽぽ	16名	9名	9回	76名	86名
マスカット	26名	5名	22回	499名	89名
ひまわり会	31名	4名	21回	667名	73名
スマイル若宮	27名	18名	22回	457名	164名
合計：7団体	143名	57名	139回	2,507名	789名

(2) 連絡会等開催実績

①第1回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和5年5月29日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	12名（6グループ）
内 容	・協議（6月以降のボランティア活動について）

②第2回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和5年8月24日（木）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	13名（6グループ）
内 容	・協議（上半期の活動の振り返りと今後の活動を協議）

③第3回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和6年3月28日（木）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	10名（6グループ）
内 容	・協議（下半期の活動の振り返りと近況報告）

〔2〕ふれあい・いきいきサロン活動の支援

（1）サロン活動団体（合計22団体）

サロン名	開催場所	対象地域	延べ利用者数	延べ協力者数	実施回数	活動内容
四つ葉会前湯	前湯公民館	前湯・下前湯	32	44	5	茶話会、講話等
しゃべろうかい	宮崎公民館	宮崎	70	20	10	茶話会、ゲーム等
中山ふれあいサロンさつき会	中山集会所	中山	31	10	4	茶話会、オカリナ演奏等
いきいきサロン市場	さつき荘	市場	36	26	4	クリスマス会等
弁天井戸喫茶	弁才天公民館	弁才天	25	55	11	室内活動等
サロン・ひだまり	備南台公民館	備南台	128	42	15	部会活動等
日笠山さくら会	日笠山公民館	日笠山	0	0	0	
喫茶とよく	頓行公民館	頓行	22	74	9	創作活動、季節行事
いきいきサロン三軒地	三軒地公民館	三軒地	37	20	7	創作活動等
塩津いきいきサロン	塩津公民館	塩津	208	65	10	季節行事
いきいきサロン久々原	久々原公民館	久々原	25	7	3	茶話会等
片田ふれあいサロン	片田公民館	片田	85	37	8	清掃活動等
舟本コミュニケーションクラブ	舟本早島	舟本	41	11	1	講話
喜楽亭	大谷荘	若宮	206	159	6	ウクレレ演奏等
ふれあいサロン樽島	樽島公民館	樽島	58	15	3	茶話会等
金田いきいきサロンにじ	西コミュニティハウス	金田	28	98	9	室内活動、創作活動
長津・畑岡ほっとサロン	いぶき荘	長津・畑岡	112	91	11	講話、創作活動等
イトーピア早島サロン	イトーピア集会所	イトーピア	23	84	12	茶話会、創作活動、季節行事
サロン矢尾	矢尾公民館	矢尾	0	0	0	
ニュー早島にこにこサロン	ニュー早島荘	N早島	0	0	0	
下野のんびり友の会	下野公民館	下野	0	0	0	
すまいるサロン小浜	3匹の子ブタ	小浜	16	63	11	観光ウォーキング等
合 計 / 延べ利用者数 1,183 人 / 延べ協力者数921人 / 実施回数139回						

(2) 連絡会 開催実績

ふれあい・いきいきサロン意見交換会

開催年月日	令和6年2月29日(木)
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	27名(17団体)
内 容	・活動実践紹介「倉敷市内におけるサロン活動の取り組み状況について」 ・意見交換「サロン活動の課題と今後の進め方について」

(3) 助成金交付実績

256,100円(17団体)

〔3〕夏季一斉友愛訪問活動

活動実績

開催年月日	令和5年5月下旬から12月末
訪問対象者数	2,860人/28地区 ※令和5年4月1日時点で概ね70歳以上の方 避難行動要支援者名簿に掲載されている方
訪問活動者数	民生委員21名、福祉活動員74名
世帯実態概要	独居796名(世帯)、夫婦1,577名(788世帯)

〔4〕秋のちょこっとお助け訪問活動

活動実績

開催年月日	令和5年11月20日(月)から11月30日(木)
サービス実施世帯数	18世帯(高齢者世帯17件、障がい者1件)
おたすけ員協力者数	32名
おたすけ員協力者 内訳	民生委員16名、福祉活動員13名、暮らしの応援団2名、 社協職員1名

〔5〕地区福祉活動の支援

① 自治会の福祉活動支援

- ・1地区(塩津町内会)

②職員訪問による地区福祉活動の支援

	事務局	居宅介護支援	通所介護	合計
訪問回数	74回	0回	0回	74回
実訪問職員数	5名	0名	0名	5名
延べ訪問者職員数	78名	0名	0名	78名

7. 福祉啓発（教育）の推進

〔1〕夏のボランティア体験

実施結果

体験期間	令和5年7月20日（木）から8月25日（金） ※夏季休暇期間
受入協力 団体	<福祉（教育）施設・機関> 計9施設・機関 早島幼稚園／わかみや保育園／かんだ保育園／早島児童館／早島保育園／ 早島町地域活動支援センター「梅檀の家」／特別養護老人ホーム白亜館／ 早島町生涯学習課（わくわくサマーホリディ・備中はやしま夏まつり実行 委員会）／早島町社会福祉協議会（かんたんスマホ講座・車いす体験） <ボランティア団体> 計4団体 若宮まちづくりの会／手話ボランティアいぐさ／パソボラはやしま／はや しま本だいすきの会
体験者数	113名 <体験者内訳> 中学生108名、高校生5名
体験案内校	1校 <中学校> 計1校 早島中学校

〔2〕福祉教育への協力支援

実施結果

①出前福祉講座「視覚障害①」

開催年月日	令和5年6月7日（水）
開催場所	早島小学校ランチルーム、体育館
内 容	アイマスク・白杖を使用した視覚障害（ロービジョン）の模擬体験
参 加 者	早島小学校4年生児童153名、本会職員3名（事務局、訪問介護）

②出前福祉講座「視覚障害②」

開催年月日	令和5年7月11日（火）
開催場所	早島小学校ランチルーム
内 容	弱視当事者による講話／講師：NPO 法人チーム響き
参 加 者	早島小学校4年生児童153名、本会職員4名（事務局、訪問介護）

③出前福祉講座「車いす体験」

開催年月日	令和5年10月16日（月）
開催場所	早島小学校体育館、校庭及び外周
内 容	車イス操作方法の説明、車イス使用による小学校外周の走行体験
参 加 者	早島小学校4年生児童153名、本会職員4名（事務局、訪問介護）

④福祉講座「ユニバーサルデザイン」

開催年月日	令和5年10月2日（月）
開催場所	早島町地域福祉センター館内
内 容	施設見学（バリアフリー設備・ユニバーサルデザインの探索と説明）
参 加 者	早島小学校4年生児童153名、本会職員3名（事務局）

⑤インタビュー対応（中学生）

開催年月日	令和5年11月22日（水）
開催場所	早島町地域福祉センターボランティア室等
内 容	認知症、障がい者の介助、支援方法について等のインタビュー対応
参 加 者	早島中学校1年生生徒10名、本会職員3名（事務局、通所介護、訪問介護）

〔3〕コミュニケーション麻雀の普及推進

	普及行事名等	参加者数	備 考
4月	楽しむ会（3回）	23名	定例会
5月	楽しむ会（3回）	22名	定例会
6月	楽しむ会（4回）	28名	定例会
7月	楽しむ会（3回）	22名	定例会
8月	楽しむ会（4回）	27名	定例会
9月	楽しむ会（3回）	23名	定例会
10月	楽しむ会（3回）	23名	定例会
11月	楽しむ会（4回）	35名	定例会
12月	楽しむ会（3回）	19名	定例会
1月	楽しむ会（3回）	21名	定例会
2月	楽しむ会（4回）	38名	定例会
3月	楽しむ会（4回）	28名	定例会

〔4〕障がい者作品展の開催

開催年月日	令和5年12月2日（土）から12月9日（土）
開催場所	早島町地域福祉センター1階ロビー
主 催	早島町社会福祉協議会
共 催	早島町身体障がい者福祉協会、ほのぼの会、難病の会 喜楽会
出 展 数	43品

〔5〕福祉映画会

- ・令和5年度は映画会の意義について再検討、生活困窮者に向けたフードドライブとフードパントリーを実施。

8. ボランティア活動の支援

〔1〕ボランティア保険の加入支援

- ・加入者数計：465名
 - ◇個人加入：11名
 - ◇団体加入：454名（27団体）

〔2〕福祉ボランティアグループ活動の支援

- ◆活動助成額合計：88,500円（4団体）
 - ①パソボラはやしま、②コミュニケーション麻雀を広める会、③はやしま朗読ボランティア福来朗、④運転ボランティアくるりん

〔3〕ボランティア活動に関する相談・調整

○個人相談（個人の生活を支援する人材の調整件数）

相談者（世帯数）	依頼事項等	調整内容	調整件数
生活困窮者世帯（0世帯）	-	-	0件
独居高齢者世帯 （10世帯）	ゴミ出し・買い物代行・ 庭・植栽整備等	生活支援ボランティア の派遣調整	645件
高齢者世帯（2世帯）	-	-	0件
障がい者世帯（1世帯）	植栽整備・修繕	生活支援ボランティア の派遣調整	11件
複合課題世帯（3世帯） ※複数の課題がある世帯	家屋内整理・家屋外清掃	生活支援ボランティア の派遣調整	7件
合 計		16世帯／663件	

※福祉有償運送事業（P.21）及び秋のちょこっとお助け訪問活動（P.17）の調整数は除く。

○団体相談（団体や組織活動を支援する人材や作業の調整件数）

相談元（団体数）	行事名、依頼事項等	調整内容	調整件数
町内教育機関 （1団体）	授業への講師派遣	福祉教育プログラム 調整	6件
町内医療機関 （0団体）	つくし病棟での 本の読み聞かせ	朗読ボランティアの 派遣調整	0件
町内福祉施設 （1団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	1件
地区老人クラブ （1団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	1件
地区サロン活動 グループ（11団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	27件
	送迎調整協力	運転ボランティアの 派遣調整	4件
給食ボランティア グループ（8団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	件
	送迎調整協力	運転ボランティアの 派遣調整	230件
福祉当事者グループ （2団体）	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	2件
合 計		19団体／392件	

※本会デイサービスセンターが調整をした件数は除く。通所介護事業（P.35～36）参照。

〔4〕ボランティア活動の人材発掘

分 野	具体的取組み	新規所属団体	新規人数
福祉活動員	自治会への推薦依頼	福祉活動員協議会	41名
福祉ボランティア	福祉有償運転者講習会開催	運転ボランティアくるりん	2名
生活支援活動者	活動呼びかけ	暮らしの応援団	4名
			合計47名

9. 福祉団体活動の支援

〔1〕福祉当事者団体活動の支援

◆活動助成額合計：252,000 円（2 団体）

①ブロンズクラブ（独居高齢者の会）

②早島町身体障がい者福祉協会

〔2〕福祉団体活動の支援

◆活動助成額合計：172,000 円（2 団体）

①早島保護司会、②早島町更生保護女性会

10. 在宅福祉サービス事業

〔1〕福祉有償運送事業

利用状況及び収入

サービス月	実利用者数	運行回数	利用料収入（円）
4月	7 名	16 回	13,785 円
5月	5 名	14 回	14,740 円
6月	5 名	15 回	18,390 円
7月	6 名	14 回	11,760 円
8月	5 名	14 回	13,525 円
9月	8 名	26 回	21,540 円
10月	5 名	17 回	17,975 円
11月	6 名	14 回	13,735 円
12月	6 名	18 回	17,925 円
1月	4 名	10 回	8,355 円
2月	4 名	9 回	12,305 円
3月	5 名	14 回	14,045 円
合 計	66 名	181 回	178,080 円

〔2〕福祉用具貸出サービス

貸出品目と件数

介護用具名	貸出件数
車いす（自走用・介助用・リクライニング）	51 件
スロープ	4 件
ポータブルトイレ	20 件
歩行器（シルバーカー含む）	2 件
吸引器	0 件
家庭用コードレスチャイム	7 件
シャワーチェアー（浴槽台含む）	7 件
杖（松葉杖含む）	2 件
点滴つり	2 件
合 計	95 件（前年度比▲3 件）

1 1. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助

〔1〕生活福祉資金貸付

○生活福祉資金（本則）

貸付資金種類	相談件数	新規貸付	貸付中	償還中
総合支援資金	1件	0件	0件	0件
福祉資金	3件	0件	0件	0件
教育支援資金	4件	0件	0件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件	0件
※旧・離職者支援資金	-	-	-	1件
その他	6件	-	-	-
合 計	14件	0件	0件	1件

○生活福祉資金（特例貸付）

貸付資金種類	相談件数	貸付総数	償還中	免除	猶予	完了
緊急小口資金	—	121件	70件	38件	11件	2件
総合支援資金（初回）	—	101件	58件	35件	8件	0件
総合支援資金（延長）	—	34件	6件	—	—	0件
総合支援資金（再貸付）	—	56件	19件	5件	3件	0件
特例貸付（償還）	63件	—	—	—	—	—
合 計	63件	312件	153件	78件	22件	2件

〔2〕日常生活自立支援事業

援助区分	新規相談	新規契約	援助中	契約解除
認知症高齢者	0件	0件	0件	1件
知的障がい者	0件	0件	1件	0件
精神障がい者	0件	0件	1件	0件
その他	0件	0件	1件	0件
合 計	0件	0件	3件	1件

1 2. 地域福祉センターの管理運営

〔1〕施設利用

団体利用実績

施設名	利用回数	利用人数	平均利用人数
ボランティア室	83回	421名	5.1名
調理実習室	41回	590名	14.4名
会議室	261回	3,488名	13.4名
プレイルーム	145回	1,020名	7.0名
開放フロア	4回	21名	5.3名

〔2〕備品・用具の貸出

利用実績

区分	合 計	福祉関係団体	行政関係団体	その他
レクリエーション用具	41件	22件	11件	8件
機材	6件	5件	1件	0件
その他	7件	6件	0件	1件

〔3〕施設修繕・改修

（1）要 点

- ・老朽化する施設内の修繕、自動火災報知機の見直し工事等を実施した。

（2）改修実績

- ・地下高圧ケーブル取替
- ・漆喰壁黒ずみ除去
- ・2階ホール廊下系統空調機オイルヒーター交換（1カ所）
- ・調理実習室流し台水栓漏水修繕（5カ所）
- ・調理実習室ガス警報装置取替（6カ所）
- ・消火器具取替（22本）
- ・デイルーム和室ルームエアコン新設（1カ所）
- ・ボイラー室給湯1次循環ポンプ更新
- ・ボイラー室給湯配管安全弁交換
- ・ボイラー室ろ過昇温用循環ポンプ修繕
- ・ボイラー室受水槽修繕
- ・正面入口内外自動ドア装置一式取替
- ・会議室腰壁シート貼り付け工事
- ・排煙窓ワイヤーロープ及び固着防止剤交換
- ・デイルーム排煙装置交換（1カ所）

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業

〔1〕介護保険-居宅介護支援事業、介護予防居宅介護支援事業【早島町受託事業】

(1) 概況

- ・要介護者については、新体制での引継ぎを行いながら、可能な範囲で新規相談を断らないことで担当件数が伸びた。
- ・要支援者については、担当要介護利用者が要支援移行となった場合や、担当要介護利用者の家族で会った場合に受託。正職員の減少に伴い、非常勤職員含め全てのケアマネジャーが担当できる体制とした。【早島町受託事業】

(2) 利用状況の推移

サービス月	担 当 件 数	稼 働 率
4月	166件 31件	83.1%
5月	165件 30件	83.9%
6月	166件 30件	81.4%
7月	168件 29件	83.6%
8月	176件 29件	87.2%
9月	175件 27件	87.9%
10月	179件 27件	89.7%
11月	177件 29件	90.9%
12月	175件 29件	86.8%
1月	178件 30件	93.4%
2月	179件 31件	90.7%
3月	179件 32件	90.9%
合 計	2,083 件	87.4%

※稼働率は、ケアマネジャー1人当たりの担当件数上限に対して平均担当率を算出

2. 通所介護事業

〔1〕 通所介護事業・日常生活支援総合事業

(1) 概況

◆年間延べ利用者数：7,890名（前年度比＋733名）

(2) 利用状況の推移（上段：要介護1～5、下段：要支援1～2の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	稼働率 (総合含む)
4月	25日	60名 14名	609名 70名	27.1名	77.6%
5月	27日	61名 13名	685名 80名	28.3名	80.9%
6月	26日	60名 14名	659名 80名	28.4名	81.2%
7月	26日	61名 13名	685名 62名	28.7名	82.0%
8月	27日	60名 13名	636名 60名	25.7名	73.6%
9月	26日	59名 10名	608名 49名	25.2名	72.1%
10月	26日	61名 10名	626名 41名	25.6名	73.2%
11月	26日	61名 12名	687名 63名	28.8名	82.4%
12月	24日	62名 14名	542名 67名	25.3名	72.5%
1月	24日	65名 14名	551名 70名	25.8名	73.9%
2月	25日	64名 16名	686名 79名	30.6名	87.4%
3月	27日	66名 15名	716名 71名	29.1名	83.2%
合計	309日	—	7,690名 792名	27.4名	78.2%

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

※1日平均人数の合計は、年間延べ人数を開所日数で除した数値を記載。

〔2〕 介護保険外サービス事業

○実績なし

〔3〕 ボランティア協力の受入

新規協力 1団体 個人 なし

※4月に1団体を受け入れたが、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、以降中止した。

3. 訪問介護事業

〔1〕訪問介護事業・日常生活支援総合事業

(1) 概況

- ・介護保険サービスでは、訪問回数が前年度比525回増となり増収となった。総合事業は利用回数が前年度比203回減となり減収となった。

(2) 利用状況の推移（上段：要介護1～5、下段：要支援1～2の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	目標達成率
4月	33名	304回	257.60 時間	73%
	15名	97回	80.50 時間	75%
5月	30名	311回	257.50 時間	66%
	15名	117回	98.00 時間	75%
6月	34名	367回	294.25 時間	75%
	16名	115回	96.00 時間	80%
7月	34名	378回	299.00 時間	75%
	17名	119回	97.00 時間	85%
8月	38名	397回	307.75 時間	84%
	15名	107回	89.25 時間	75%
9月	34名	346回	256.75 時間	75%
	17名	116回	96.75 時間	85%
10月	34名	371回	274.50 時間	75%
	16名	110回	92.00 時間	80%
11月	32名	341回	253.00 時間	71%
	14名	102回	86.00 時間	70%
12月	30名	331回	242.50 時間	66%
	14名	93回	77.50 時間	70%
1月	33名	340回	250.25 時間	73%
	15名	96回	80.25 時間	75%
2月	35名	354回	266.75 時間	77%
	15名	102回	85.50 時間	75%
3月	35名	379回	285.00 時間	77%
	15名	98回	82.75 時間	75%
合 計	402名	4,219回	3,244.85時間	74%
	184名	1,272回	1,061.50 時間	76%

※目標設定は要介護の利用者が45名、要支援の利用者が20名

〔2〕介護保険外サービス事業

（1）概況

- ・介護保険外（実費）サービスは、介護保険サービスや障害福祉サービスの対象外の方や、保険対象とならないサービスを提供するもので、常時5名程度の利用者があるが、制度の狭間を埋めるための事業であり特に目標を定めていない。

（2）利用状況の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	目標達成率
4月	6名	14回	12.5時間	120%
5月	5名	15回	13.0時間	100%
6月	6名	12回	11.0時間	120%
7月	5名	11回	9.0時間	100%
8月	6名	14回	13.0時間	120%
9月	6名	18回	12.0時間	120%
10月	6名	12回	13.5時間	120%
11月	4名	10回	8.5時間	80%
12月	6名	13回	11.5時間	120%
1月	5名	11回	9.0時間	100%
2月	5名	11回	10.0時間	100%
3月	8名	16回	17.5時間	100%
合計	68名	157回	140.5時間	113%

〔3〕障がい者総合支援-居宅介護事業・重度訪問介護事業

（１）概況

- ・障害福祉サービスでは、訪問回数が前年度比２６８回増となりわずかに増収となった。
重度訪問介護は５月以降利用者がいないため減収。

（２）利用状況の推移（上段：居宅介護支援、下段：重度訪問介護）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				目標達成率
			身体	知的	精神	合計	
４月	17名	186回	11.00	79.00	95.00	185.00	90%
	1名	69回	69.00	0.0	0.0	69.00	
５月	16名	180回	9.00	83.00	88.00	180.00	80%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
６月	16名	175回	12.75	79.00	93.75	185.50	80%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
７月	16名	193回	12.00	79.50	93.25	184.75	80%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
８月	16名	175回	10.00	78.50	101.00	189.50	80%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
９月	16名	194回	9.00	89.00	96.25	194.25	80%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
１０月	14名	173回	11.00	72.00	90.00	173.00	70%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
１１月	18名	204回	14.00	78.00	112.00	204.00	90%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
１２月	16名	171回	9.00	73.00	89.00	171.00	80%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
１月	16名	180回	14.00	74.00	92.00	180.00	80%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
２月	16名	175回	12.00	73.00	90.00	175.00	80%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
３月	17名	187回	14.00	72.00	93.25	175.50	85%
	0名	0回	0.0	0.0	0.0	0.0	
合 計	194名	2,193回	133.75	930.00	1,133.50	2197.25	80%
	1名	69回	69.0	0.0	0.0	69.0	

※障害者総合支援サービスのうち重度訪問介護事業は、長時間・年中無休のサービス提供が前提となっており、当ステーションの勤務形態では安定したサービス提供が難しいサービスである。

〔４〕障がい者総合支援-移動支援事業（外出支援）

（１）概況

- ・移動支援は少ないながらもニーズは継続しており、実績は昨年度と同等であった。

（２）利用状況の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				目標達成率
			身体	知的	精神	合計	
４月	２名	１５回	23.5	0.0	0.0	23.5	100%
５月	２名	１６回	26.0	0.0	0.0	26.0	100%
６月	２名	１５回	25.5	0.0	0.0	25.5	100%
７月	３名	１３回	21.0	1.5	0.0	22.5	150%
８月	１名	６回	12.0	0.0	0.0	12.0	50%
９月	２名	１７回	29.5	0.0	0.0	29.5	100%
１０月	２名	１９回	29.5	0.0	0.0	29.5	100%
１１月	２名	１５回	25.5	0.0	0.0	25.5	100%
１２月	３名	１７回	26.5	0.0	0.0	28.5	150%
１月	２名	１３回	25.0	0.0	0.0	25.0	100%
２月	３名	１３回	20.0	0.0	2.5	22.5	150%
３月	２名	１４回	26.5	0.0	0.0	26.5	100%
合 計	26名	173回	290.5	1.5	2.5	296.5	101%